

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

## 入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 6118

件名	防火水槽用地整備工事	
履行場所	海老名市上今泉六丁目地内	
工期	令和6年6月4日～令和6年8月30日(88日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	4,433,000 円 (税込)	4,030,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) ※本案件は、スクラップ費を一般管理費に含めて最低制限価格を算出しています。 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	010 土木一式 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が4千5百万円(建築一式工事の場合は7千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり (第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について	本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)	参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していることを証する書類の写し。(次の(1)～(3)のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(経営事項審査)の写し ※ <u>経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働(雇用)保険料の領収書の写し (3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 (システム添付)	○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類(専任技術者証明書など)		

# 案内図

工事件名 : 防火水槽用地整備工事  
工事場所 : 海老名市 上今泉六丁目 地内



# 工事説明書 (特記仕様書)

工事件名 : 防火水槽用地整備工事  
工事場所 : 海老名市 上今泉 6 丁目 地内

## 1. 工事目的

○公設防火水槽用地として適正な維持管理をしていくため。

## 2. 工事概要

○整備内容：以下のとおり

- ・土工 1.0 式
- ・仮設工 1.0 式
- ・付帯工 1.0 式

## 3. 仕様（施工管理）

○海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準に基づき舗装工・側溝工については以下の試験・立ち合いを行うこととする。試験は各工種の施工数量により対応すること。

- ・アスファルト舗装工、アスファルト安定処理工  
現場密度の測定・コア抜き (1000 m<sup>2</sup>未満 3 個 別途 1000 m<sup>2</sup>毎に 1 個追加)
- ・表層・基層  
コア抜き  
密度測定 (300 m<sup>2</sup>以上 3 個実施)
- ・上下層路盤  
現場密度測定 (300 m<sup>2</sup>以上 3 個実施)  
プルフローリング (段階確認項目)
- ・透水性舗装  
現場透水性試験 (10 箇所実施)
- ・側溝工の高さ管理立ち合い (各測点を舗装する前に標高で確認)

○ 上記の試験については海老名市土木工事施工管理基準により、300 m<sup>2</sup>未満は小規模により省略することもできる。

ただし、監督員が必要と認める場合は施工計画段階の協議により決定する。測定基準において、施工延長 L=40.0m とあるものは、L=20.0m とし、L=20.0m 未満については、2 箇所とすること。

○型枠材料については、熱帯雨林材の使用を避けること。

○海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し、提出することとするが、詳細については、監督員と協議し、決定する。

○道路計画高等、必要段階に於いては、監督員に立会いを求め、承認の上、施工を推進すること。

○再生砂(RC-10)を使用する際、六価クロムについて、平成3年8月23日付環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、予め土壤汚染に係る環境基準に適合する



ことを確認し、以下の項目について、実施すること。

- ①各工事で1購入先当たり1検体の試験を行うこととする。
  - ②この試験については、製造者側が、工事請負業者（現場代理人等）の立会いのもと、採取した資料により品質管理の一環として自らの費用を持って行うこととする。
  - ③工事請負業者は、再生砂を使用する場合、製造者側から試験結果報告書を入手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けることとする。
- 上記以外の内容については、監督員と協議し、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。
  - 出来高管理及び品質管理基準の規格については、監督員と協議し決定するものとする。

#### 4. 工程管理

○契約工期

**令和6年 6月4日 ~ 令和6年8月30日**

○詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

#### 5. 安全対策

○道路使用許可条件（交通管理、施工時間等）を遵守すること。

尚、やむを得ず施工時間が許可範囲を超えてしまう場合、監督員に連絡するとともに、交通管理者（所轄警察署）に連絡をすること。

○工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。

○特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないように、安全対策（安全柵・チューブライト等により）を十分に行うこと。

尚、特に夜間の安全管理については、留意すること。

○工事実施期間中に現場を開放する場合（工事実施時間帯以外）には、現況道路高と計画道路高に段差が生じないように、必ず安全対策（看板設置・段差擦り付け・通行止め等）を講ずること。

○風雨が強い場合、工事現場の見周りをを行い、工事看板、仮囲い、仮設電力、重機等に破損、転倒等が無いか確認し、監督員に状況を報告すること。

又、気象情報で注意報及び警報が発令された場合においては、特に留意すること。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

#### 6. 仮設備関係

○仮設備（現場事務所等）の建設については、位置・規模等について監督員の承諾を得ること。

○工事に電力、用排水、水道、仮設駐車場、現場事務所に係る建設費用等は、請負業者の負担とする。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

#### 7. 道路関係

○一般道路を工事用資器材等の搬入に使用する場合、搬入経路・使用期間等を明確にすること。

○当該工事車両については、速やかに工事ヤード内に誘導し、道路上で工事車両が待機し、一般車及び公共交通車両の通行を妨げないようにする。

○一般道路を使用するときは、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。尚、大型車両を使用する場合、規定の路線を利用し、十分に速度を落とし、安全に留意して走行すること。

○施工段階で、周辺道路の通行止めを行う場合、所轄警察署の許可を得ることは基より、

通行止めの予告・案内看板等により、車両及び人を安全に誘導すること。尚、看板設置位置等については、監督員と協議し、承諾を得ること。

- 一般道路を通行止めとする場合、その期間が極力短くなるよう創意工夫した提案を監督員に行うこと。
- 夜間にて、資材等の搬入を行う場合に於いても、十分留意すること。
- 資機材の搬入路については、監督員と協議を行い決定すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

## 8. 建設副産物関係

- 建設副産物の処分は、**建設リサイクル法等を遵守し**、再生工場に搬入すること。
- 詳細については、施行計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

## 9. 海老名環境マネジメントシステム関係

- 本工事は、海老名環境マネジメントシステムの公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、下表の事項に留意し施工すること。

適用工事件名	防火水槽用地整備工事
作業	配慮事項
掘削	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
排出土処理	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する。
埋戻し(盛土)	現場内排出土及び再生砕石を使用する。
アスファルト取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理) 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
構造物	基礎材は、再生砕石を使用する。
路盤工	路盤材は再生材 (RM-40・RC-40・RC-10) を使用する。
舗装工 (車道及び歩道)	舗装材には一部を除き、リサイクル材を採用する。
工事作業 機械車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドルリングをしない。

## 10. その他工事全般

- 工事に際し、現場代理人及び主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人に於いて、作業中現場に常駐すること。  
又、現場代理人は、施工計画書を作成し、事前に監督員の承諾を得ること。  
尚、本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画も作成し、明記すること。
- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。  
尚、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。  
**(海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照)**
- 工事に際し、事前に関係者へ十分な周知を図るとともに、民地内に立ち入る場合は、了解を得てから実施すること。
- 基準点、測量点及び境界点は、工事着手前に点検し、保存の必要があれば確保し、関係者より復元等を求められた場合は、早急に復元すること。
- 騒音、振動及び粉塵等により近隣住民に対し不利益になりうる事は、工事期間・

- 時間及び施工方法等を十分に配慮し、施工に当たること。
- 掘削位置直近の構造物（ブロック塀等）は、施工前に状態を確認し、必要であれば、地権者に立会いを求め、記録し、監督員に報告すること。
  - 工事現場から発生する不要物等が、工事エリア外に飛散、流出等しないよう必要な処置を講じること。
  - 請負業者（下請業者含）は、関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち責務を果たすこと。
  - 道路占用物件（ライフライン等）の移設及び撤去が生ずる場合、関係機関との調整を十分行い、監督職員に報告し、工事を円滑に履行すること。
- 
- 設計図書及び工事説明書（特記仕様書）に記載されていない事項については、監督職員と協議の上、履行すること。
  - 本説明書（特記仕様書）の他に、『**海老名市公共工事共通事項書**』も併せて熟読し、本件の施工にあたること。
  - 工事提出書類については十分把握し、適正に作成すること。  
**（海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照）**
  - 本工事は、『**公園工事**』で積算しています。
  - その他の条件等については、別途『**施工条件明示書**』を参照すること。
  - 本仕様書に定めのない事項については、その都度、監督員と請負者で協議を行い、決定していくこと。

# 施工条件明示書（土木工事共通）

## 1、工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	防火水槽用地整備工事		
工事場所	海老名市	上今泉6丁目	地内
工事目的	公設防火水槽用地として適正な維持管理をしていくため。		
工事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土工 1.0式</li> <li>・舗装工 1.0式</li> <li>・付帯工 1.0式</li> <li>・仮設工 1.0式</li> </ul>		
契約工期	令和6年6月4日	から	令和6年8月30日 まで
事業区分	<input type="checkbox"/> 補助金事業	<input type="checkbox"/> 国庫	
		<input type="checkbox"/> 県費	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業		
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算		
	<input type="checkbox"/> 合算積算		工事 工事

## 2、積算諸条件

主たる工種 : 公園工事

施工地域・工事場所区分 : 一般交通影響あり（2）

契約保証の方法 : 発注者が金銭的補償を必要とする

施工パッケージの使用（一部使用含む）  有  無

### 【使用歩掛及び単価等】

<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	5年	7月
<input checked="" type="checkbox"/> 諸経費率	適用年版：令和	5年	7月
<input type="checkbox"/> 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	年版	
<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	6年	3月
<input checked="" type="checkbox"/> 刊行物	適用年版：令和	6年	1月
<input type="checkbox"/> 特別調査	適用年版：令和	年	月
<input checked="" type="checkbox"/> 海老名市見積単価等	適用年版：令和	5年度	月
<input type="checkbox"/> その他（ ）	適用年版：令和	年	月

3、施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (他工事件名等) <input type="checkbox"/> 有 (工期、内容等)
	2	当工事における施工時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (制約を受ける施工内容等) <input type="checkbox"/> 有 (施工時期等)
	3	施工時間について	<input checked="" type="checkbox"/> 昼間施工 (その他特記事項) <input type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (関係機関名) <input type="checkbox"/> 有
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容) <input type="checkbox"/> 有
	<p>※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。</p>		
	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	<input type="checkbox"/> 無 (詳細内容、作業不能日数等) <input checked="" type="checkbox"/> 有 夏季休暇3日
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等) <input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) <input type="checkbox"/> 有
	3	使用後の復旧条件	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (復旧内容等) <input type="checkbox"/> 有
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法・振動規制法 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法・振動規制法
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対策内容) <input type="checkbox"/> 有



【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （指定内容） <input type="checkbox"/> 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> その他
	3	交通誘導警備員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 （1）交通誘導員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> 有 （2）配置期間 作業期間中（昼）
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （搬入経路・使用期間等の制限） <input type="checkbox"/> 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （仮設道路に関する安全施設） <input type="checkbox"/> 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （建設発生土の処分先） 現場内流用 工事発注時点で発生土受け入れ地が確定していないため変更になる可能性があります。 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> コンクリート塊 <input type="checkbox"/> アスファルト塊 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 建設発生木材 <input checked="" type="checkbox"/> 建設発生木材（伐木・除根材） <input type="checkbox"/> 建設汚泥 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物 <input type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> その他（ ） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 電柱 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ガス管 <input type="checkbox"/> 架空電線 <input type="checkbox"/> 標識・看板 <input type="checkbox"/> その他（ ）

【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容)
			工法区分： 使用材料： <input type="checkbox"/> 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：
【9】 その他	1	工事現場発生品がある 場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (品名、数量等) <input type="checkbox"/> 有
	2	支給材料及び貸与品が ある場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (品名、数量等) <input type="checkbox"/> 有
	3	特殊・特定使用材料を 使用する場合及び資材 搬入等に制限がある場 合	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (品名、数量、搬入制限等) <input type="checkbox"/> 有
	4	有価物（スクラップ 等）処分費を計上して いる場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名等) <input checked="" type="checkbox"/> 有 有価物にかかる処分費については、諸経費率対象外としています。
	5		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
	6		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
	7		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
	8		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

令和6年度

防火水槽用地整備工事設計書

番 号	TI-データR6.1 費率R6.1 3	施 工 年 度	令和5年度（12月補正）
名 称	防火水槽用地整備工事		
場 所	海老名市 上今泉六丁目 地内		
施 工 主	海老名市	概要 工事概要  1. 土工 1.0式（床掘、埋戻し） 1. 舗装工 1.0式（表層、下層路盤） 1. 付帯工 1.0式（ネットフェンス、補強コンクリートブロック、門扉 標識移設、植栽撤去、間詰コンクリート） 1. 仮設工 1.0式（交通誘導員）	
設 計 区 分			
路 線 名			
期 間	令和 6年 6月 4日 ～ 令和 6年 8月 30日		
日 数	88 日		
部 課 名	消防本部警防課		
積 算 担 当	営繕課		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			







# 間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	公園工事	工事日数	88日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り(2)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	補正なし	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

## 算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned}
 \text{共通仮設費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\
 &= \quad \times \quad \% \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\
 &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\
 &= \quad \% \times \\
 &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \%
 \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned}
 \text{現場管理費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\
 &= \quad \times \quad \% \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\
 &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\
 &= \quad \% \times \\
 &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \%
 \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

# 間 接 費 明 細 書

算 出 基 礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{対象額による率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$



A- 1号内訳書(施工P-01)

床掘り

土質:土砂、施工方法:上記以外(小規模)

積算単位:m3

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			20.81			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準) / 山積0.28m3(平積0.2m3)	供/日	20.81			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			71.39			
R 1	運転手(特殊)	人	38.71			
R 2	普通作業員	人	32.68			
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			7.80			
Z 1	軽油 / パトロール給油	L	7.80			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{20.81}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{20.81}{20.81} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{38.71}{100} \times \text{-----} + \frac{32.68}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{71.39}{38.71+32.68} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{7.80}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{7.80}{7.80} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-20.81-71.39-7.80}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 1号内訳書(施工P-02)

積算単位:m3

標準単価:

土砂等運搬

土砂等発生現場:小規模、積込機種・規格:バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)

土質:土砂(岩塊・玉石混りも含む)、D/D区間の有無:有り、運搬距離:27.0km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			25.13			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル/4t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費	供/日	25.13			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			61.92			
R 1	運転手(一般)	人	61.92			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			12.95			
Z 1	軽油/パトロール給油	L	12.95			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{25.13}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{25.13}{25.13} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{61.92}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{61.92}{61.92} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{12.95}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{12.95}{12.95} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-25.13-61.92-12.95}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$





A- 2号内訳書(施工P-01)

透水性アスファルト舗装

平均幅員:1.4m未満、1層当り平均仕上り厚:実数入力、材料:開粒度アスコン(13)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

入力数量: 50mm

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			0.64			
K 1	振動ローラ(舗装用) ハンドガート式/運転質量0.5~0.6t	供/日	0.48			
K 2	振動コンパクタ 前進型/機械質量40~60kg	供/日	0.11			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			57.38			
R 1	特殊作業員	人	24.80			
R 2	普通作業員	人	21.47			
R 3	土木一般世話役	人	6.38			
R 4						
R 5						
材料Z			41.98			
Z 1	アスファルト混合物(小型車)/開粒度アスコン(13)	t	41.69			
Z 2	カソリン/レギュラー, スタンド渡し	L	0.18			
Z 3	軽油/ハンドロール給油	L	0.09			
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.48}{100} \times \frac{0.48}{0.48+0.11} + \frac{0.11}{100} \times \frac{0.11}{0.48+0.11} \right) \times \frac{0.64}{0.48+0.11} \right. \\
 & + \left( \frac{24.80}{100} \times \frac{24.80}{24.80+21.47+6.38} + \frac{21.47}{100} \times \frac{21.47}{24.80+21.47+6.38} + \frac{6.38}{100} \times \frac{6.38}{24.80+21.47+6.38} \right) \times \frac{57.38}{24.80+21.47+6.38} \\
 & + \left( \frac{41.69}{100} \times \frac{41.69}{41.69+0.18+0.09} + \frac{0.18}{100} \times \frac{0.18}{41.69+0.18+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{0.09}{41.69+0.18+0.09} \right) \times \frac{41.98}{41.69+0.18+0.09} \\
 & \left. + \frac{100-0.64-57.38-41.98}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 2号内訳書(施工P-02)  
下層路盤(歩道部)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 110mm

全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.91			
K 1	小型バックホウ(クローラ、標準) 賃料 / 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> ) (排出ガス対策型含む)	日	3.06			
K 2	振動ロー(舗装用、搭乗・コンバインド式) 賃料 / 質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	2.68			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			71.41			
R 1	普通作業員	人	29.93			
R 2	運転手(特殊)	人	25.29			
R 3	特殊作業員	人	14.12			
R 4						
R 5						
材料 Z			22.68			
Z 1	再生クラッシャーラン / RC-40	m <sup>3</sup>	20.42			
Z 2	軽油 / パトロール給油	L	2.20			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{3.06}{100} \times \frac{5.91}{3.06+2.68} + \frac{2.68}{100} \times \frac{5.91}{3.06+2.68} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{29.93}{100} \times \frac{71.41}{29.93+25.29+14.12} + \frac{25.29}{100} \times \frac{71.41}{29.93+25.29+14.12} + \frac{14.12}{100} \times \frac{71.41}{29.93+25.29+14.12} \right) \\
 & + \left( \frac{20.42}{100} \times \frac{22.68}{20.42+2.20} + \frac{2.20}{100} \times \frac{22.68}{20.42+2.20} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.91-71.41-22.68}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$







B- 1号明細書(施工P-01)

積算単位:m3

標準単価:

埋戻し

施工方法:上記以外(小規模)

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K		9.91			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準) / 山積0.28m3(平積0.2m3)	供/日	9.30			
K 2	タンパ及びランマ ランマ / 質量60~80kg	供/日	0.61			
K 3						
K 4						
K 5						
労務	R		85.67			
R 1	普通作業員	人	48.83			
R 2	特殊作業員	人	19.54			
R 3	運転手(特殊)	人	17.30			
R 4						
R 5						
材料	Z		4.42			
Z 1	軽油 / ハトール給油	L	3.49			
Z 2	ガソリン / レキユーター, スタンド渡し	L	0.93			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場	S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{9.30}{100} \times \frac{9.91}{9.30+0.61} + \frac{0.61}{100} \times \frac{9.91}{9.30+0.61} \right) \times \frac{9.91}{9.30+0.61} \right. \\
 & + \left( \frac{48.83}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} + \frac{19.54}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} + \frac{17.30}{100} \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} \right) \times \frac{85.67}{48.83+19.54+17.30} \\
 & + \left( \frac{3.49}{100} \times \frac{4.42}{3.49+0.93} + \frac{0.93}{100} \times \frac{4.42}{3.49+0.93} \right) \times \frac{4.42}{3.49+0.93} \\
 & \left. + \frac{100-9.91-85.67-4.42}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$





B- 2号明細書(施工P-01)  
 金網・支柱 (立入防止柵)

積算単位:m

標準単価:

基礎種別:基礎ブロック、支柱間隔:2m

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		100.00			
	R 1 普通作業員	人	90.52			
	R 2 土木一般世話役	人	8.67			
	R 3					
	R 4					
	R 5					
材料	Z					
	Z 1					
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \right. \\
 & + \left( \frac{90.52}{100} \times \text{-----} + \frac{8.67}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{100}{90.52+8.67} \\
 & + \\
 & \left. + \text{-----} \frac{100-100}{100} \text{-----} \right\} =
 \end{aligned}$$



B- 3号明細書(施工P-01)

門扉

門扉種別:両開き

積算単位:基

標準単価:

名	称	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東京)	単	価	摘	要
機械	K														
	K 1														
	K 2														
	K 3														
	K 4														
	K 5														
労務	R							100.00							
	R 1	普通作業員			人			77.22							
	R 2	土木一般世話役			人			19.87							
	R 3														
	R 4														
	R 5														
材料	Z														
	Z 1														
	Z 2														
	Z 3														
	Z 4														
	Z 5														
市場	S														

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \right. \\
 & + \left( \frac{77.22}{100} \times \frac{100}{77.22+19.87} + \frac{19.87}{100} \times \frac{100}{77.22+19.87} \right) \times \frac{100}{77.22+19.87} \\
 & + \\
 & \left. + \frac{100-100}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 3号明細書(施工P-02)  
コンクリート

積算単位:m3

標準単価:

構造物種別:小型構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		44.86			
	R 1 普通作業員	人	24.24			
	R 2 土木一般世話役	人	9.75			
	R 3 特殊作業員	人	8.67			
	R 4					
	R 5					
材料	Z		55.14			
	Z 1 生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し	m3	55.14			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{24.24}{100} \times \text{-----} + \frac{9.75}{100} \times \text{-----} + \frac{8.67}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{44.86}{24.24+9.75+8.67}$$

$$+ \left( \frac{55.14}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{55.14}{55.14}$$

$$+ \frac{100-44.86-55.14}{100} \} =$$

B- 3号明細書(施工P-03)  
型枠

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

型枠の種類: 一般型枠、構造物の種類: 小型構造物

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			100.00			
R 1	型わく工	人	44.66			
R 2	普通作業員	人	30.77			
R 3	土木一般世話役	人	11.53			
R 4						
R 5						
材料 Z						
Z 1						
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

× {

$$+ \left( \frac{44.66}{100} \times \text{---} + \frac{30.77}{100} \times \text{---} + \frac{11.53}{100} \times \text{---} \right) \times \frac{100}{44.66+30.77+11.53}$$

+

$$+ \left. \text{---} \frac{100-100}{100} \text{---} \right\} =$$



B- 3号明細書(施工P-04)

基礎砕石

砕石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.88			
K 1	バックホウ(クローラ、標準)賃料/山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )(排出ガス対策型含む)	日	5.84			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			76.10			
R 1	普通作業員	人	36.47			
R 2	特殊作業員	人	15.92			
R 3	運転手(特殊)	人	14.24			
R 4	土木一般世話役	人	8.95			
R 5						
材料 Z			18.02			
Z 1	再生クラッシャーラン/RC-40	m <sup>3</sup>	12.56			
Z 2	軽油/パトロール給油	L	5.43			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{5.84}{100} \times \frac{5.88}{5.84} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{36.47}{100} \times \frac{76.10}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{15.92}{100} \times \frac{76.10}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{14.24}{100} \times \frac{76.10}{36.47+15.92+14.24+8.95} + \frac{8.95}{100} \times \frac{76.10}{36.47+15.92+14.24+8.95} \right) \\
 & + \left( \frac{12.56}{100} \times \frac{18.02}{12.56+5.43} + \frac{5.43}{100} \times \frac{18.02}{12.56+5.43} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.88-76.10-18.02}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$





B- 5号明細書(施工P-01)

積込運搬

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

運搬機械選定: ダンプトラック(オンロード・ディーゼル・2t積級)、ダンプトラック運搬距離: 11.5km以下

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.02			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル/2t積級+良好: タイヤ損耗費及び補修費	供/日	5.02			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			92.69			
R 1	普通作業員	人	75.87			
R 2	運転手(一般)	人	16.07			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			2.29			
Z 1	軽油/ハトール給油	L	2.29			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{5.02}{100} \times \frac{5.02}{5.02} \right) \times \frac{5.02}{5.02} \right. \\
 & + \left( \frac{75.87}{100} \times \frac{92.69}{75.87+16.07} + \frac{16.07}{100} \times \frac{92.69}{75.87+16.07} \right) \times \frac{92.69}{75.87+16.07} \\
 & + \left( \frac{2.29}{100} \times \frac{2.29}{2.29} \right) \times \frac{2.29}{2.29} \\
 & \left. + \frac{100-5.02-92.69-2.29}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



B- 6号明細書(施工P-01)  
コンクリート

積算単位:m3

標準単価:

構造物種別:小型構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		44.86			
	R 1 普通作業員	人	24.24			
	R 2 土木一般世話役	人	9.75			
	R 3 特殊作業員	人	8.67			
	R 4					
	R 5					
材料	Z		55.14			
	Z 1 生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し	m3	55.14			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{24.24}{100} \times \frac{44.86}{24.24+9.75+8.67} + \frac{9.75}{100} \times \frac{44.86}{24.24+9.75+8.67} + \frac{8.67}{100} \times \frac{44.86}{24.24+9.75+8.67} \right)$$

$$+ \left( \frac{55.14}{100} \times \frac{55.14}{55.14} \right)$$

$$+ \frac{100-44.86-55.14}{100} \} =$$































## 支障木伐採

発生材再資源化処理量 (kg) = 樹木体積 (m<sup>3</sup>) \* 木材単位重量 (kg/m<sup>3</sup>)

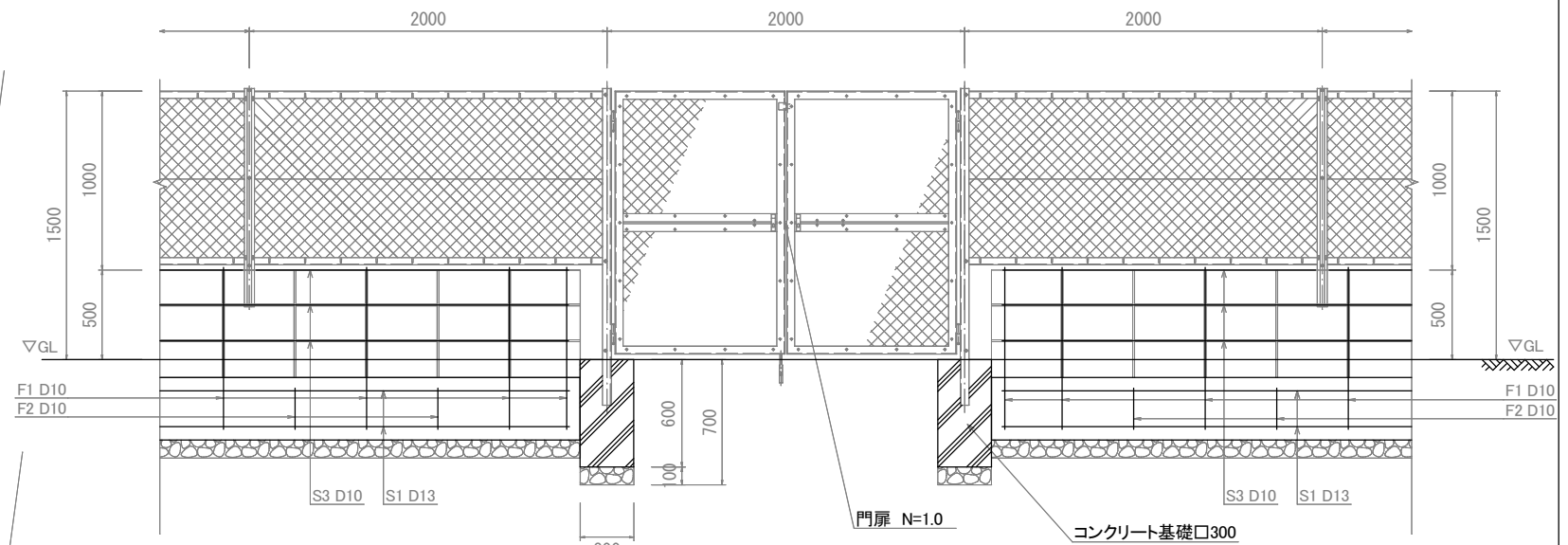
樹木体積 : 幹断面積 \* 樹木高

木材単位重量 : 500 kg/m<sup>3</sup>

幹周長 (m)	幹直径 (m)	幹断面積 (m <sup>2</sup> )	樹木高 (m)	本 数	樹木体積 (m <sup>3</sup> )	木材単位重量 (kg/m <sup>3</sup> )	再資源化処理量 (kg)
~ 0.19	0.06	0.0029	1.5		0.0000	500	
0.20 ~ 0.29	0.09	0.0067	2.0	13	0.1739		87
0.30 ~ 0.59	0.19	0.0277	4.0		0.0000		
0.60 ~ 0.89	0.28	0.0630	6.0		0.0000		



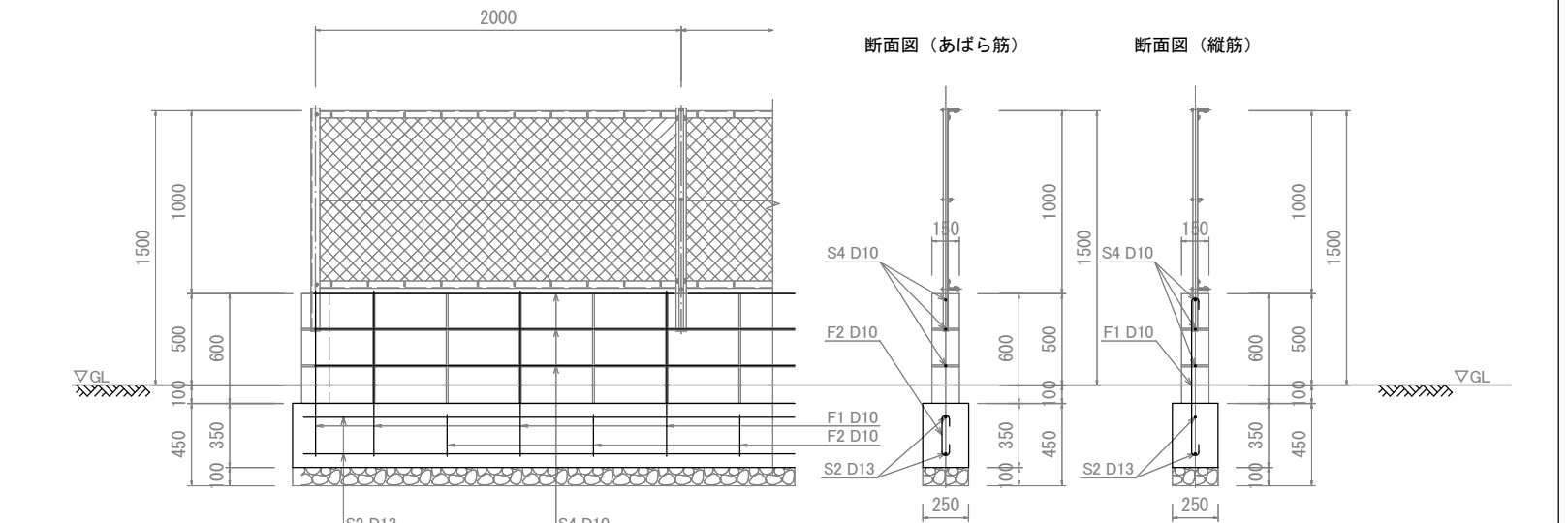
ネットフェンス（門扉部）正面図 S=1:20



材料表 (1.0箇所当り)

名称	規格寸法	単位	算式	数量	換要
門扉	3.2×50	基	1.0	1.0	
コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.3×0.3×0.6	0.054	
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	0.6×0.3×4.0	0.72	
基礎碎石	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	0.3×0.3	0.09	t=100mm

ネットフェンス（一般部） S=1:20



10.0mあたりの鉄筋数量

番号	径	本	単位重量	1本当たりの重量(kg)	総重量(kg)	記号
S1	D13	4	0.995kg/m	3.48	13.92	—
S2	D13	3	0.995kg/m	3.48	10.44	—
S3	D10	9	0.650kg/m	2.28	20.52	—
S4	D10	3	0.650kg/m	2.28	6.84	—
F1	D10	20	0.650kg/m	0.67	13.4	—
F2	D10	20	0.650kg/m	0.25	5.00	—
					D13	24.36
					D10	45.76

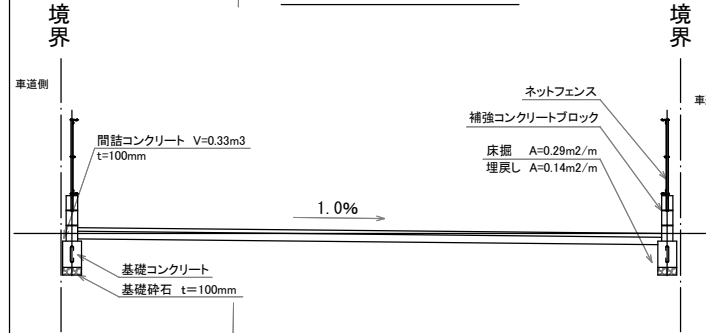
材料表 (10.0m当り)

名称	規格寸法	単位	算式	数量	換要
ネットフェンス	3.2×50	m	10.0	10.0	
補強コンクリートブロック	W=150	基	3.0×26.0	78.0	
コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.35×2.0×10.0	0.875	
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	0.35×2.0×10.0	7.00	
基礎碎石	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	0.25×10.0	2.50	t=100mm

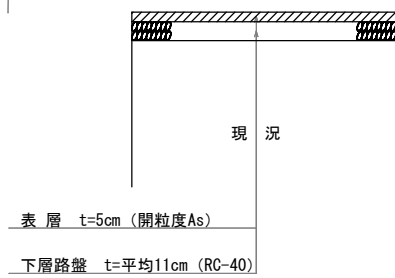
平面図 S=1:100



A-A' 断面 S=1:50



舗装構成図 S=1:20



NO	Xn	Yn
1-818	-58759.812	-38061.642
1-819	-58760.358	-38061.208
C6	-58768.126	-38055.114
C5	-58772.989	-38061.314
C4	-58766.128	-38068.063

座標リスト

点名	X座標	Y座標	点の種類
1A382	-58753.725	-38060.147	補助点(仮)
1A383	-58779.131	-38040.098	補助点(仮)
1A384	-58800.454	-38113.058	補助点(仮)
1005A	-58717.124	-38090.284	街区三角点(建物)

※横筋は横筋用ブロック内に配置し壁頂にも横筋すること  
 ※端部の横筋は折り曲げて定着させること。  
 ※縦筋は空洞内で重ねて定着すること。  
 ※縦筋は布基礎に定着させ壁頂横筋にフックで定着させること。  
 ※かぎ掛する余長は180°フックの場合は4d以上、90°フックの場合10d以上とすること  
 ※縦筋は400mm~800mmの間隔で配置すること  
 ※横筋はD13以上で800mm以下の間隔で配置すること  
 ※鉄筋の定着・継ぎ手長は40d以上とすること  
 ※鉄筋の折り曲げ内寸法Rは3d以上とすること  
 ※縦筋は400mm~800mmの間隔で配置すること  
 ※配筋は参考なので現場状況に合わせて施工すること

土工

- ①床掘 舗装部 74.5×0.11(平均)=8.20m<sup>3</sup>  
 構造物 ブロック 0.29×32.5=9.43m<sup>3</sup>  
 門扉基礎 0.90×0.90×0.7×2.0=1.13m<sup>3</sup>  
 標識基礎 1.1×1.1×0.6=0.73m<sup>3</sup>
- ②埋戻し 構造物 ブロック 0.14×32.5=4.55m<sup>3</sup>  
 門扉基礎 (0.90×0.90×0.7-0.3×0.3×0.7)×2.0=1.01m<sup>3</sup>  
 標識基礎 1.10×1.10×0.60-0.50×0.50×0.60=0.58m<sup>3</sup>

舗装工

- 表層(再生密粒度AS) t=50mm A=74.5m<sup>2</sup>  
 下層路盤(再生砕石RC-40) t=110 A=74.5m<sup>2</sup>